

「塔の由来」

この塔は、地元広島 of 彫刻家圓鏑勝三氏に依頼して制作されたものです。

五重塔は逆三角形の塔とし、中心柱の先端を折れた形にしていますが、これは動員学徒が勉学半ばで犠牲になったこと、伸びんとするものが座折したことを表現しています。

御本尊は、多くの犠牲者の中には色々の宗旨の方がおられることを想定して、観音像とマリア像が調和した本尊にすべく、像の顔部分は観音様にし頭部に宝冠、背にはエンゼルの羽、手には蓮花ならぬ英霊の花を持ち、水々しい慈愛に満ちた姿に表現されています。

塔の高さは十二メートル・鉄筋コンクリート製・有田焼陶板張り仕上・平和の女神像と八羽の鳩を配した末広がり五層の塔で中心柱に慰霊の灯明が装置されています。

圓鏑勝三氏プロフィール

1905年（明治38年）広島県御調郡河内村（現 尾道市御調町）出身。河内尋常高等小学校高等科を卒業後、京都の彫刻師 石割秀光の内弟子になる。
京都市立商工専修学校、関西美術院で学んだ後、上京して日本美術学校彫刻科に入学。
1930年（昭和5年）第11回帝展にて「星陽」が初入選。
1939年（昭和14年）第3回文展にて「初夏」特選。
1946年（昭和21年）第2回日展にて「砂浜」特選。
1947年（昭和22年）第3回日展にて「しろうさぎ」特選。
1950年（昭和25年）第6回日展にて「土器を持つ女」特選。
1965年（昭和40年）第8回日展にて「旅情」文部大臣賞受賞、1966年 日本芸術院賞受賞。
1971年（昭和46年）紺綬褒章受章、1976年 勲三等瑞宝章受章。
1988年（昭和63年）文化勲章受章。
1989年（平成元年）広島県名誉県民に登録される。
1993年（平成5年）広島県御調町に圓鏑勝三記念公園・記念館開館。
2003年（平成15年）逝去。



発行所

一般財団法人
広島県動員学徒等
犠牲者の会

事務局

広島市南区比治山本町12-2
広島県社会福祉会館内
〒732-0816 電話 (082) 252-0316
郵便振替口座 広島0-8858番

印刷所 Taisei

被爆七十周年
記念号

デジタルブック
“衝突の証言”

<http://www.douingakuto.com/>

お世話になる方々

広島県

健康福祉局長 笠松 淳也

社会援護課長 日下 仁彦

援護恩給グループ

主幹 関野 弘美

主任専門員 村川ちどり

主任専門員 掛本 彰

専門員 船石 幸恵

専門員 川尻 博満

援護恩給グループ

電話 082-513-3036

広島市

健康福祉局長 糸山 隆

健康福祉局次長 久保 雅之

健康福祉局保険年金課長 荒木 清希

健康福祉局保険年金課 松村 建宏

福祉医療担当課長 井上 和義

保険年金課課長補佐 福永 玲子

（事）管理係長 井上 和義

保険年金課主事 福永 玲子

電話 082-504-2159

健康福祉局原爆被害対策部調査課 山本 勝彦

主事（追悼式補助金担当） 電話 082-504-2191

ごあいさつ



広島市健康福祉局保険年金課
福祉医療担当課長

松村 建宏

広島県動員学徒等犠牲者の会の皆様方におかれましては、日頃から本市行政の推進に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

この度、健康福祉局保険年金課福祉医療担当課長に就任し、援護行政に携わることとなりました。よろしくお願い申し上げます。

会員の皆様方におかれましては、先の大戦において負傷されたり、最愛の御家族を亡くされ、長い間、肉体的精神的苦痛に耐えてこられたものと拝察申し上げます。

今年は、戦後七〇周年という節目を迎えます。今日のわが国の平和と繁栄の礎には、数多くの動員学徒や女子挺身隊員の方々の尊い犠牲があることを、私たちは決して忘れてはなりません。

本市は、平和首長会議を構成する

六千五百を超える加盟都市とともに、国連や志を同じくするNGOなどと連携して、二〇二〇年までの核兵器廃絶をめざし、核兵器禁止条約の早期実現に全力で取り組んでいます。

また、終戦時に生まれた市民も70歳となるなど、戦後の復興・成長を支えた市民の多くが高齢者となります。このため、高齢者の方々がいきいきと、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう取り組んでまいります。

終わりに、貴会の益々の御発展と、皆様の御健勝・御多幸を祈念いたします。御挨拶とさせていただきます。

動員学徒慰霊塔の清掃、 供花、英霊供養を 行っています。

10名から20名の会員が、冬期を除き月2回、慰霊塔周辺の清掃、供花の取り替え、古くなった千羽鶴の片づけを行っています。

また、月1回は、清掃のあとに慰霊塔のすぐ東隣の西向寺様で供養会を行っています。平成27年度の日程は行事予定表のとおりですので、一緒に活動してみませんか。



清掃に参加した会員



供養会の模様



平成26年度 事業報告書

1、広報活動の実施

(1) 会報「ともしび」の配布

平成26年6月30日 会報第120号
平成26年11月30日 会報第121号
広報部会により企画編集を行い、各1,200部印刷し、会員等に配布した。

(2) 「慟哭の証言」を関係機関等に配布

冊子「慟哭の証言」の増刷分を、県内公立図書館(103)や関係者に配布した。

(3) 慰霊塔説明文の増刷印刷

慰霊塔の説明文を4万枚増印刷した。

(4) 動員学徒等の業績の顕彰とその精神の啓発

慰霊塔の清掃日時等を利用して、随時、参拝者に対して原爆、空襲、動員学徒の顕彰等について説明した。

2、第58回原爆追悼式の挙

日時 平成26年8月6日(火)

午前9時から

場所 動員学徒慰霊塔前広場

3、動員学徒慰霊塔の清掃・供花・英霊供養

平成26年

4月7日、4月21日

5月7日、5月23日、6月6日

6月20日、7月7日、7月23日

8月5日、8月22日、9月5日
9月19日、10月6日、10月22日
11月10日、12月5日、12月22日
平成27年 1月15日、2月6日、
3月6日、3月25日
4、役員会等の開催

平成26年5月7日 監事会

平成25年度収支決算関係

平成26年5月23日 理事会・評議員会

議員

議案第1号 理事長・副理事長の選定

議案第2号 平成25年度事業実績

議案第3号 平成25年度一般会計収支決算

議案第4号 平成25年度監査報告

平成26年7月7日 第58回原爆追悼式開催要領打合わせ

平成26年9月5日 理事会・評議員会

議案第1号 平成26年度広島県大雨災害義援金

議案第2号 慰霊塔側溝整備工事

議案第3号 慰霊塔電気設備補修工事

議案第4号 慰霊塔排水設備・植栽

平成26年9月5日 第58回原爆追悼式反省会

平成26年11月10日 理事会

慰霊塔電気設備補修工事

慰霊塔敷地の排水設備点検
慰霊塔敷地の植栽等

事務局長の後任

平成27年3月25日 理事会・評議員会

議案第1号 平成27年度事業計画書

議案第2号 平成27年度一般会計収支予算書

議案第3号 平成27年度原爆死没者追悼式典

福祉援護事業

平成26年8月6日原爆追悼式において遺族等援護相談を実施した。

6、その他

(1) 慰霊塔の修繕及び周辺の環境整備

慰霊塔側溝整備工事

平成26年10月29日～11月14日

慰霊塔照明器具更新工事

平成27年3月12日

(2) 広島市8・20豪雨災害義援金の支出

平成26年8月豪雨による広島市の豪雨災害に当たって義援金30万円を広島県共同募金会を通して支出した。

平成27年度事業計画書

1、広報活動の推進

(1) 平成27年8月6日の第59回原

爆追悼式を会員に案内する。

(会報「ともしび」122号に掲載し、送付する。)

(2) 会報「ともしび」を印刷、配布する。

平成27年6月30日付け第122号及び11月30日付け第123号の会報「ともしび」を各1,200部印刷し、会員等に配布する。

(3) ホームページを通して動員学徒の証言集「慟哭の証言」を多くの人に読んでもらう。

(4) 慰霊塔の前に置いている説明文を新たに作成する。

(5) 増刷した冊子「慟哭の証言」を関係者に配布する。

(6) 慰霊塔の清掃日時等を利用して、参拝者に対して原爆、空襲、動員学徒等の説明を行う。

2、第59回原爆追悼式の挙行日時 平成27年8月6日(木) 午前9時から

場所 動員学徒慰霊塔前広場

3、全国戦没者追悼式への参加日時 平成27年8月15日(土) 場所 日本武道館

4、動員学徒慰霊塔の清掃・供花及び供養会の実施

別紙「行事予定表」のとおり

5 役員会等の開催

定時評議員会及び理事会並びに監事会を開催する。

ご寄付お礼

平成26年9月から平成27年6月までに、次の皆様から貴重なご寄付をいただきました。ご厚志、誠にありがとうございました。

日 和 隼 巳 様
堀 田 逸 郎 様

ご寄付いただく際には、次の口座へお願いします。

郵便局
振替口座
0130001618858

一般財団法人
広島県動員学徒等犠牲者の会



平成26年度 収支決算書
(平成26年4月1日から平成27年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
1 経常利益・経常費用			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息		19,922	△ 19,922
事業収益			0
追悼式典事業収益	367,000	461,000	△ 94,000
受取補助金等			
地方公共団体補助金	539,000	546,000	△ 7,000
受取寄付金			
受取寄付金	38,500	79,000	△ 40,500
雑収益			
受取利息	48,995	600	48,395
雑収益	820,511	921,911	△ 101,400
経常収益計	1,814,006	2,028,433	△ 214,427
(2) 経常費用			
事業費			
会 議 費	5,954	20,000	△ 14,046
旅費交通費	294,940	359,300	△ 64,360
通信運搬費	254,492	180,415	74,077
消 耗 品 費	208,810	238,974	△ 30,164
修 繕 費	736,864	0	736,864
印刷製本費	261,904	216,480	45,424
光熱水料費	27,998	35,808	△ 7,810
保 険 料	27,410	25,400	2,010
委 託 費	378,000	350,000	28,000
諸 謝 金	1,024,000	800,000	224,000
支払負担金	85,128	850,000	△ 764,872
雑 費	675,432	277,960	397,472
事業費計	3,980,932	3,354,337	626,595
管理費			
会 議 費	2,000	122,050	△ 120,050
旅費交通費	150,000	100,000	50,000
通信運搬費	60,000	50,000	10,000
消 耗 品 費	25,000	70,000	△ 45,000
印刷製本費	35,000	30,000	5,000
光 熱 水 費	5,000	5,000	0
賃 借 料	0	9,450	△ 9,450
諸 謝 金	256,000	160,000	96,000
公 租 公 課	21,000	71,000	△ 50,000
支払負担金	400,000	580,090	△ 180,090
雑 費	155,000	100,000	55,000
管理費計	1,109,000	1,297,590	△ 188,590
経常費用計	5,089,932	4,651,927	438,005
当期経常増減額	△ 3,275,926	△ 2,623,494	△ 652,432
2 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	

平成27年度 収支予算書

(平成27年4月1日から平成28年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	実施事業等会計	法人会計	合 計	備 考
1 経常利益・経常費用				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
基本財産受取利息	0		0	
事業収益				
追悼式典事業収益	500,000		500,000	追悼式事業収益
受取補助金等			0	
地方公共団体補助金	530,000		530,000	広島県、広島市
受取寄付金				
受取寄付金		50,000	50,000	一般寄付
雑収益				
受取利息		50,000	50,000	定期預金、普通預金
雑収益		700,000	700,000	養銭収入
経常収益計	1,030,000	800,000	1,830,000	
(2) 経常費用				
事業費				
会 議 費	10,000		10,000	茶菓子代
旅費交通費	340,000		340,000	式典、広報部会、供養会
通信運搬費	280,000		280,000	会報発送費、郵送代、電話代
消 耗 品 費	250,000		250,000	生花スタンド、生花等
修 繕 費	100,000		100,000	慰霊塔防水工事
印刷製本費	350,000		350,000	会報、慰霊塔説明文
光 熱 水 費	40,000		40,000	電気・水道
保 険 料	30,000		30,000	傷害保険
委 託 費	420,000		420,000	追悼式会場設営
諸 謝 金	800,000		800,000	報償費
支払負担金	100,000		100,000	ホームページの運用
雑 費	460,000		460,000	撤選品、お布施
事業費計	3,180,000	0	3,180,000	
管理費				
会 議 費		5,000	5,000	役員会、部会等
旅費交通費		200,000	200,000	役員会、部会等
通信運搬費		70,000	70,000	電話、郵送代
消 耗 品 費		50,000	50,000	事務用品等
印刷製本費		40,000	40,000	資料印刷
賃 借 料		10,000	10,000	会議室賃料
諸 謝 金		160,000	160,000	報償費
公 租 公 課		25,000	25,000	法人県民税
支払負担金		400,000	400,000	県社協入居料
雑 費		140,000	140,000	お供え、玉ぐし料
管理費計	0	1,100,000	1,100,000	
経常費用計	3,180,000	1,100,000	4,280,000	
当期経常増減額	△ 2,150,000	△ 300,000	△ 2,450,000	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0		
(2) 経常外費用	0	0		

大阪市立玉津中学校生徒さんからのメッセージ

平成27年5月に大阪市立玉津中学校三年生の生徒さん153名から平和メッセージが届きました。その内容の一部を紹介します。

ビデオとかを見て、
たった1つの爆弾で、
たくさんの命が
失われるのは、
とても怖いことだと思った。
この先、絶対に戦争が
起きない世界に、
自分達が変えていきたい。

松本 美優

戦争を忘れちゃいけない!!
みなさんも語り継いで
ください。
ぼくたちも語り継ぎます。

植村 誠輝

広島・長崎に落と
された原爆は今後、
絶対に使っちゃはいけ
ない兵器だと思い
ました。戦争で安全に暮
らせない人が1人でも多く減ってほ
しいと思います。

端本 萌香

日常に戦争がある
国があります。今安心して
暮らせているのはキセキだ
と思います。ひてりひとりか
っかりと戦争の事を知り、
なくそうとする心構えを持ち、

早く戦争を地球上からなく
したいです。後世に戦争というものの悲惨さを受
けつぎ、二度と戦争がおこらないようにする
社会と世界平和を目指し、

築羽 竹本 絵理

平和へのメッセージ
私たちが平和に生きること。
私たちの子どもたちが平和に生きること。
私たちの孫たちが平和に生きること。
次の世代へ、次の世代へ
私たちは次の世代へ
つなげていかなければ
なりません。

明日の平和を願います。
1年後の平和を願います。
平和を大せかた...

米谷 震風



警報なき空

井野口 靖弘

動員学徒「慟哭の証言」より抜粋(3)

厚くお礼を言つて、教えて貰つたとおりに道をその角から西に向かつて行くと広商の学校の横に出たのでひと安心して、やれやれと思ひ近道をするつもりが結果は遠回りしたので大失敗であつた。そこで電車通りを比治山橋から駅方面に歩いて行くと両側の家は倒壊し、方々で火災が発生しており電柱は皆な横に倒れ、電線は蜘蛛の巣を破つたように四方へ垂れ下がつて前に進むのに上を飛び越えたり下を潜つたりして、太陽と燃える炎で熱い中を、なるべく中央を通るようにしても火傷がひりひりと痛みだし炎と煙の中をようやく比治山下の警察派出所の所までたどり着いた。

これより先は火災の勢いが凄く煙が行方をふさいでいて、とても的場方面には進むことができないので、山越えをして一歩でも家に近付こうと思ひ、多聞院の前辺りに来ると道いっぱいに負傷者が蜚を並べたように横に倒れており「水を下さい、助けて下さい」と通る人に両手を差し延ばして呻き声を振り絞りながら助けを求めており、坂道で少し傾斜はあるが道の両端も中央も負傷者が一

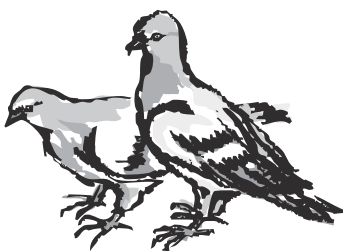
杯で、そこを通るためにはその人達を踏まないように飛び越えながら速く通らないと助けを求めて足に抱きつかれそうであつた。負傷者の衣服は先程の雨にも濡れて火傷と共にびしょびしょであり、老人と女性や子供が多く、死んでいる者は殆どいないようで重症者ばかりであつた。自分の三メートル程前を中年の男性が二人歩いており、その後に急いで追いついた。続いて行くと左側に山へ入る道があつて、そこを登って行くと、道は無くなり三人で一休みしていた時、上空に敵の飛行機が近付く音がしてきたので、又、爆弾を落とされるといけないと思つて、近くの松の太木が数本あつたので、その陰に分かれてうずくまると居ると直ぐに敵機は去り、偵察に来たのだと思つた。二人の行き先を尋ねると戸坂方面と聞いたので、そこから別れて右側の方に向けて、山を越えておりると段原町であつた。家屋はあまり被害が無いようで火災も発生しておらず、人が全然居ないように静かであつた。路地を東に向かつて歩いて行くと川に出て東大橋が見えてきた。

暑さと傷が痛みだしたので、口の中は乾いて水が飲みたいと思つたが以前から水を飲むとこんな時は倒れると教えられていたので、我慢して歩いていと広い道に出た、行き会う人は多くなり誰も無言で歩いている、これ迄に知つた人には誰にも逢えないと思ひながら歩いていると、橋の西詰を父の姿がこちらに向かつて近付いて来るのが見えた。初めて知つた人に会えたのが父であつた。「お父さん」と大きな声が自然と出た。涙は出なかつたが物凄く嬉しくて言葉では言いあらわせない程であつた。父は警防服にゲートルを巻き戦闘帽をかぶりその姿が非常に頼もしく見えた。私から呼ばないと父からは息子であつても、誰であるのか目だけ出して包帯を巻いているので、わからなかつたと後から聞かされた。先ず最初に父に「水が飲みたい」と頼み「よし飲め」と言われたので、辺りを見ると民家の横に水道の蛇口があるのが見つかり、蛇口を捻つてひとしきり水を出してから口を濯いでからガブガブと水を飲んだ、暑かつた為か水が冷たく感じられて父に逢えた嬉しさと安心感で腹も減っているし実に水が美味しく思えた。

父は家から自転車で私と母を広島まで探しに来てくれたとわかつた。勿論国鉄の汽車もバスも交通はストップして動いておらず、親の有り難さが身にしみた。父と出会うのが一分でも三十秒でも違つていれば互いにどうなつていたかと思へば、仏様や神様のお陰であつたのであるうか、偶然の出来事であつたとは思へるが余りにも不思議で有り難く感謝の念でいっぱいであつた。

比治山を越えて長く歩いていたので、顔や手に巻いた包帯と胸や肩に巻いてもらつているゲートルが緩んでいたの、父に締め直してもらひ二人で東大橋を連れ立って渡つた。父の自転車は橋の東詰に置いてあり一般人は橋から市内に向かつては危険だから這入つてはいけないと進入を止められていたので、その場所に自転車を置いてあつた。着ている服装が役にたち、橋を渡つて市内に向かつたのであると聞かされた。

(次回に続く)



平成27年度 行事予定表

平成27年4月1日現在

一般財団法人 広島県動員学徒等犠牲者の会

年	月	日	曜	備 考	月	日	曜	備 考
平成27年	4	6	月	清掃後読経	4	28	火	清掃
	5	7	木	清掃 監事会（県社会福祉会館）	5	20	水	清掃後読経 定時評議員会・理事会（西向寺門信徒会館）
	6	5	金	清掃後読経	6	19	金	清掃
	7	6	月	清掃後読経 8月6日追悼式打ち合わせ会 会報「ともしび」封筒入れ（西向寺本堂）	7	21	火	清掃
	8	5	水	清掃後供養会	8	21	金	清掃
		6	木	第59回原爆死没者追悼式				
	9	7	月	清掃後読経 追悼式反省会（西向寺本堂）	9	18	金	清掃
	10	6	火	清掃後読経	10	20	火	清掃
	11	9	月	清掃後読経	／	／	／	
	12	7	月	清掃後読経 会報ともしび封筒入れ（西向寺）	12	21	月	清掃
平成28年	1	15	金	清掃後読経	／	／	／	
	2	5	金	清掃後読経	／	／	／	
	3	7	月	清掃後読経	3	25	金	清掃 理事会・臨時評議員会（西向寺門信徒会館）

- (注)
- 慰霊塔付近の清掃は、午前9時30分からです。雨天の場合も実施します。
 - 「西向寺」様の都合によって、日程変更する場合があります。

平成27年度旧軍人・軍属、遺族等援護相談会日程表

月日／時間	場 所
9月1日(火) 10:00～15:00	尾道市役所公会堂別館 (3階32号室) 尾道市久保一丁目15-1 TEL(0848)38-9111
7日(月) 10:00～15:00	広島県呉庁舎第2庁舎 (2階201会議室) 呉市西中央一丁目3-35 TEL(0823)22-5400
9日(水) 10:00～15:00	広島県東広島庁舎 (2階栄養指導室) 東広島市西条昭和町13-10 TEL(082)422-6911
15日(火) 10:00～15:00	広島県廿日市庁舎第2庁舎 (1階101・102会議室) 廿日市市桜尾二丁目2-68 TEL(0829)32-1181
18日(金) 10:00～15:00	広島県福山庁舎第3庁舎 (8階381・382会議室) 福山市三吉町一丁目1-1 TEL(084)921-1311
29日(火) 10:00～15:00	広島県三次庁舎第3庁舎 (1階101会議室) 三次市十日市東四丁目6-1 TEL(0824)63-5181

※午前12時から午後1時までは、相談を受けていません。（全会場共通）

◎社会援護課（広島県庁本館5階）援護恩給グループでは、月曜日から金曜日（昼休憩（午前12時～午後1時）・祝日を除く。）まで、常時ご相談を承っています。

お問い合わせ先
広島県健康福祉局 社会援護課
（〒730-8511 広島市中区基町10-52）
電話（082）513-3036

あとがき

六月も終わりにりましたが、皆さんの修学旅行生が「ひろしま」にやって来ました。ことしは被爆70周年のせいか往年より多く感じます。赤い帽子、白い帽子、黄色の帽子をかぶった子供達が、平和公園の中を走り回って取材しています。

「動員学徒の慰霊塔」にも多くの子供達がお参りしてくれました。

今日、お参りをしてくれたのは宇品小の児童達でした。友達と色々なことを話しあい、色々なことを見付けあつて研究ノートに記入しておりました。「宇品小」と聞いて、なつかしい多くの友の姿が思い出された事でした。七二年前、私は千田国民学校（小学校）を卒業し、進徳高女の生徒になっておりました。この時、御幸橋を渡って通学していた人達と学校へ通っていました。その人達が宇品、皆実の卒業生であったので、大変なつかしいものを感じたことでした。只々残念なことは原爆でみなさんは亡くなつてしまいました。

又、宇品は、宇品港として忘れることの出来ない場所となつたのです。昭和十二年七月支那事変が起り、沢山の兵士がこの宇品港から中国へ征かれました。そのお見送りを広電本社前の電車道でしたものでした。丁度小学一年生の時でした。二度と戦争が起らないように。只々平和な世界を望みます。

（寺前）